

第2回 熊本市小中一貫教育について

熊本市の小中一貫教育及び託麻東小校区の小中一貫教育モデル校としての取組については、次のとおりとする。

- (1) 熊本市の小中一貫教育・小中連携教育の推進について (別紙 資料1)
- (2) 第1回小中一貫教育懇談会 (議論のまとめ) (別紙 資料2)
- (3) 第2回小中一貫教育懇談会 (議論のまとめ) (別紙 資料3)

令和2年度 熊本市の小中一貫教育(小中連携教育)の推進について

1 取組の方向

これまでの連携教育の取組の蓄積をもとに、現在の中学校区を基盤にして、小中一貫教育を推進できる体制を整えていく。

2 期待されるメリット

- ① 小規模校の弊害の解消 ② いわゆる「中1ギャップ(小中ギャップ)」の緩和(注1)
- ③ 学力向上 ④ 教職員の意識改革 など

3 各中学校区の分類及び取組の内容

<熊本市の全中学校区の分類> ※()内の数字は各中学校の生徒数 【青字:減, 赤字:増】

	Aグループ(小1中1)	Bグループ(小複中1)	Cグループ(小複中複)
中央区	江南(201)	江原(261)	出水、白川、藤園、出水南、京陵、桜山、西山、竜南、帯山
東区	二岡(434)	長嶺(993)	湖東、東野、錦ヶ丘、東部、西原、桜木、東町
西区	河内(62)、芳野(25)	花陵(435)、三和(524)、城西(214)	井芹
南区	富合(287)	城南(407)、飽田(365)、天明(154)、力合(492)、日吉(420)、下城南(552)	託麻
北区		楠(397)、龍田(601)、武蔵(357)、鹿南(295)、五霊(325)、植木北(118)	清水、北部
特徴	<p>小中一貫型小・中学校へ移行し、小学校の教科担任制、相互乗り入れ授業、小中合同行事の開催等を必要に応じて行う。</p>	<p>学校間で調整を行い、小中一貫カリキュラムを作成する。専科による授業や交換授業等を利用して小学校の教科担任制を実施。小中一貫型小・中学校への移行ができる。</p>	<p>小中連携カリキュラムを作成し、教育活動の連続性を確保し、可能な教科や行事等で幼小中連携を推進する。</p>

<各グループのおもな取組>

小中一貫教育及び小中連携教育のおもな取組		A	B	C
1	中学校卒業時点での「目指す子ども像」を共有	○	○	○
2	小中学校で共通の学校教育目標を設定	○	○	—
3	9年間の小中一貫カリキュラムを編成	○	○	—
4	小学校高学年への教科担任制を導入	○	○	○
5	小中学校間での乗り入れ授業	○	—	—
6	小中合同行事の開催(例:運動会、入学式など)	○	—	—
7	学習や生活のルールを小中学校間で共有し、共通実践する	○	○	○
8	小中学校間で児童生徒の情報を共有し、生徒支援に活用	○	○	○
9	小中学校が合同で学力テスト等の分析を行い、結果を授業づくりに活用	○	○	○

(注1) いわゆる「中1ギャップ(小中ギャップ)」とは、子供たちが小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適応を起こすこと。

第1回熊本市小中一貫教育懇談会（議論のまとめ）

「熊本市小中一貫教育のあり方について」8月24日（月）14:00～15:30

① 熊本市小中一貫教育・幼小中連携教育について

- 熊本市では、子どもの学びと育ちを義務教育9年間（幼稚園を含めると12年間）の連続性のもとでとらえ直し、全中学校区でそれぞれの校区の状況に応じた幼小中連携教育に取り組んでいる。
- また、今年度は向山校区と河内校区に小中一貫校を設置するとともに、託麻東校区（託麻東小学校と二岡中学校）を小中一貫教育研究モデル校に指定して、小中一貫教育のさらなる推進に取り組んでいる。

② 全中学校区をABCの3グループに分けて取組を推進

- 全中学校区をABC各グループの取組案

Aグループ（小1中1）	Bグループ（小複中1）	Cグループ（小複中複）
<p>小中一貫型小・中学校へ移行し、小学校の教科担任制、相互乗り入れ授業、小中合同行事の開催等を必要に応じて行う。</p>	<p>学校間で調整を行い、小中一貫カリキュラムを作成する。専科による授業や交換授業等を利用して小学校の教科担任制を実施。小中一貫型小・中学校への移行ができる。</p>	<p>小中連携カリキュラムを作成し、教育活動の連続性を確保し、可能な教科や行事等で幼小中連携を推進する。</p>

③ 今年度の小中一貫教育の推進について

以下の4点について丁寧に取り組み、B、Cグループへの小中一貫教育の推進を図っていく。

① 幼小中連携カリキュラムについて

昨年度まで：A、Bグループは小中連携カリキュラムを作成

今年度：A、Bグループは実践・修正・改善をしていく

② 一部教科担任制について

昨年度まで：小学校の9割弱（81校）で実施

今年度：熊本市全部の小学校で実施

③ 小中一貫教育の保護者への啓発について

昨年度まで：ラジオ、市政たよりでの啓発

今年度：ラジオ、市政たよりでの啓発、各学校での取組も検討

④ 評価指標の検討について

昨年度：小中一貫校（校区：芳野、富合）とモデル校（校区：向山、河内）にアンケート

【事務局からの連絡】第2回小中一貫教育懇談会の開催について

①日時：10月6日（水）13:45～15:45 ②場所：熊本市立託麻東小学校

③内容：モデル校の視察、熊本市の小中一貫教育のあり方について協議 など

第2回熊本市小中一貫教育懇談会（議論のまとめ）

「小中一貫教育モデル校の視察について」10月6日（火）13:45～15:45

① 託麻東小学校の授業参観（託東タイム・一部教科担任制による授業）

託東タイム

全校をあげて、GA（グループアプローチ）に取り組んでいる。1・2年生ではSST（ソーシャルスキル・トレーニング）、3年生以上では、構成的グループエンカウンターに重きを置いている。生徒指導の三機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を育むことをねらいとして、取組を継続しているところである。

小学校高学年における一部教科担任制の授業

教員の教科指導の専門性を高め、授業の質の向上を図る。併せて、児童の学習内容の理解度・定着力向上と学びの高度化を図る。

託東タイム（どちらをえらぶ）



学級	教科	単元名及び学習内容	場所	指導者
5年1組	算数	面積	5年1組教室	算数TT
5年2組	音楽	曲想の変化を感じ取ろう	音楽室	音楽専科
5年3組	社会	暮らしを支える工業生産	5年3組教室	5年2組担任
5年4組	算数	整数	5年4組教室	5年4組担任
5年5組	国語	注文の多い料理店	5年5組教室	5年5組担任
6年1組	理科	水溶液の性質	理科室	理科専科
6年2組	外国語	My summer Vacation	6年2組教室	外国語専科
6年3組	算数	立体の体積	6年3組教室	6年4組担任
6年4組	家庭科	ナップザック製作	家庭科室	6年2組担任
6年5組	算数	立体の体積	6年5組教室	6年5組担任

② 小中一貫教育モデル校（託麻東小・二岡中）での取組について

小中合同校内研修の実施



- ・グループアプローチ理論研修
- ・小中職員でのグループアプローチ実践研修
- ・名城大学の曾山先生を講師としてお呼びして合同校内研修



二岡タイムと二岡トークの実践



小中連携共通実践事項として、生徒と教師にとって負担感の少ない「関わりの体験の場」を意図的かつ日常的に用意する。

託麻東小学校

二岡中学校

小学校高学年での一部教科担任制の導入

5年、6年各5クラス担任5人、理科専科、音楽専科、外国語専科
各担任が2教科ほど担当
道徳は担任チエンジ

教師の声

自分が担当する教科に集中できるようになった。

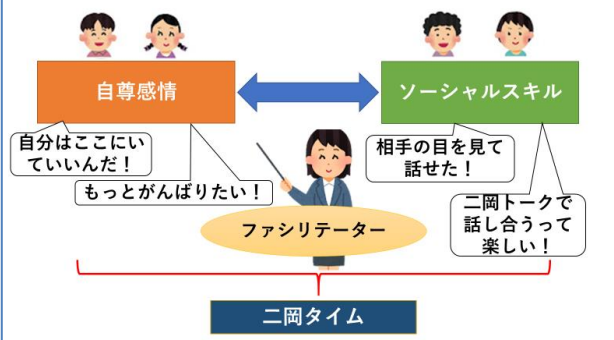
学年のチームで子どもたちを育てていこうという意識が高まっている。

時間割の調整が難しい。

子どもの声

いろいろな先生と関わることができてうれしい。

いろいろな教え方があって、勉強の刺激になる。



③ 今年度の小中一貫教育・小学校高学年一部教科担任制の評価指標

昨年度の調査項目を基本とし、懇談会の意見を加味し改善して調査していく。継続して調査することで、その成果と課題を検証し、小中一貫教育の推進へとつなげていきたい。